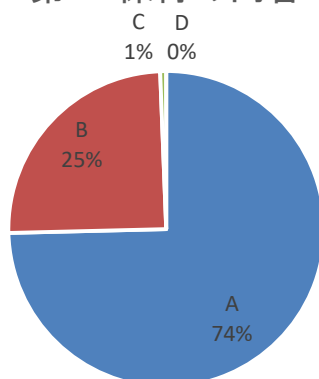


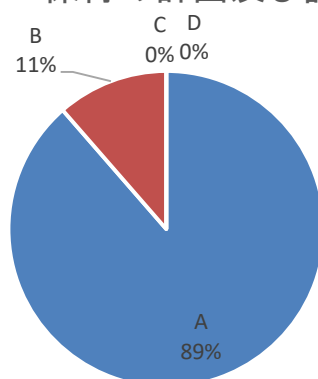
令和6年度 職員自己評価 集計グラフ

A: たいへんよい B: よい C: 一部検討を要する D: 改善を要する

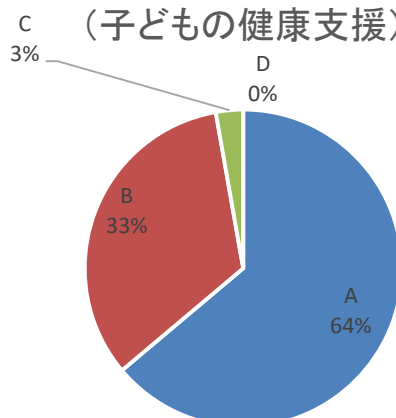
第1 保育の内容



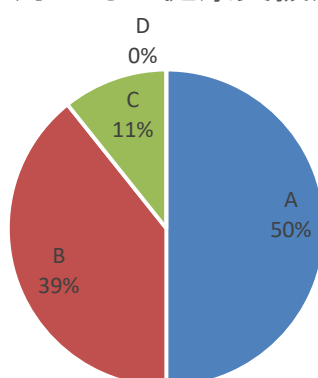
第2 保育の計画及び評価



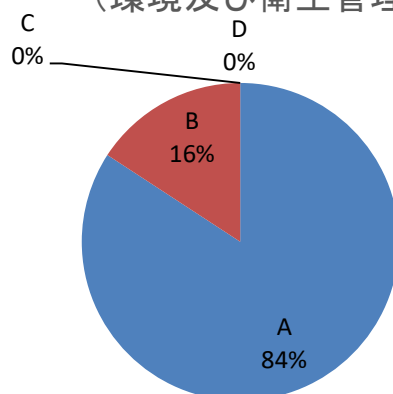
第3 健康及び安全
(子どもの健康支援)



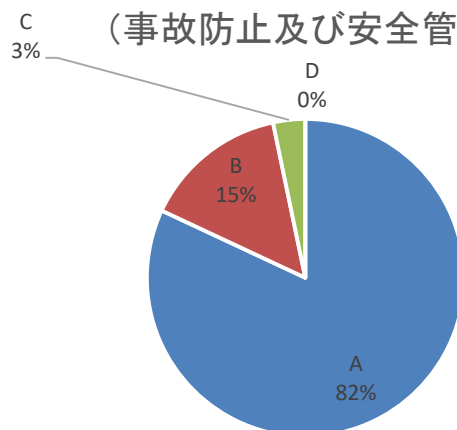
第3-2 健康及び安全
(子どもの健康支援)



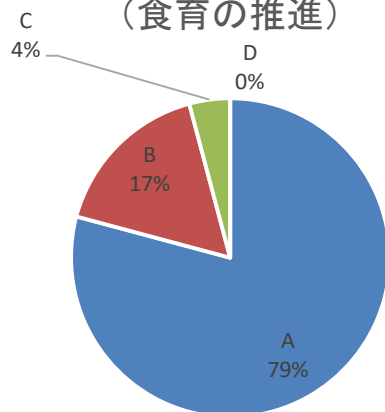
第3-3 健康及び安全
(環境及び衛生管理)



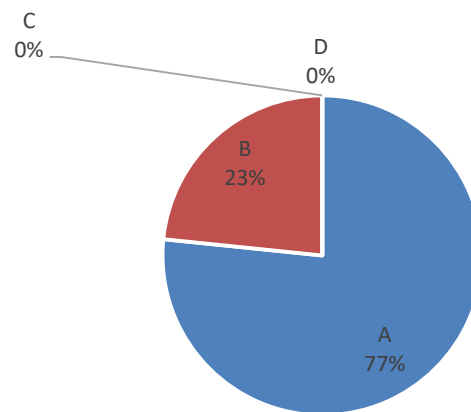
第3-4 健康及び安全
(事故防止及び安全管理)



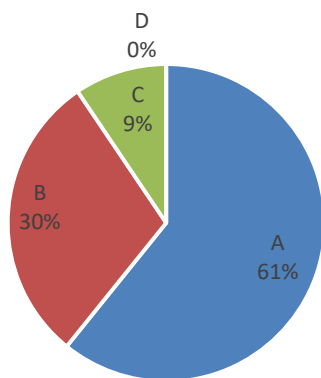
第3-5 健康及び安全 (食育の推進)



第4 保護者に対する支援



第5 職員の資質向上 (職員の研修等)



○保育実践における保育の気づきと振り返り

- ・活動の中に机上活動を入れるようにし、ビーズ通しやシール貼りなどの指先あそびを行ったことで、制作への集中力も伸びてきたと思う。
- ・運動面においては、個々の差が大きくルールのある遊びをあまり取り入れることができなかった。
- ・冬にチューリップの球根を植え、とても大事に育てる姿がみられた。夏場にも野菜や花を育てる経験ができたなら良かったなと感じた。
- ・配慮や支援が必要な子どもも多くいろんな声掛けや対応を考えながら日々関わってきたが、環境構成や個人に応じた手立て等、もっと工夫できることがあったかもしれないと思った。
- ・年少児と年中児のクラスが合同で子どもも少なかったが、配慮の必要な子が数名いたので二人の保育士で見ることができ、目が行き届き良かった。
- ・子どもたちの気分でうまく活動が進まなかったり、落ち着いた雰囲気作りが難しく思うところがあった。
- ・職員同士で声を掛け合ったり、協力して対応したりしながら保育ができたと思う。
- ・一人ひとりの発達に応じて職員同士で連携を取りながら、話し合って保育することができたと思う。
- ・体調面や天気に合わせて活動を考え、工夫することができた。
- ・子どもの発達に応じてきめ細やかな対応をするように心がけた。
- ・感染症対策等も、子ども一人ひとりをよく見て、何か気付いた時は職員間で情報を共有できたと思う。
- ・子どもたちのその時の気分で活動が進まないときが多く、落ち着いてできないことがあった。

○今後の課題と取り組み

- ・子どもの姿や行動から、一人ひとりの発達や特性を正しく把握することが必要だと感じる。適切な援助ができるように様々な面から子どもの姿をとらえて、成長を見守っていけるようにしたい。
- ・支援が必要な子どもや“気になる子”の行動や対応を保護者にどのように伝え理解してもらうか課題である。
- ・友だちと協力する力を伸ばしていけるような遊びを取り入れていきたい。
- ・一人ひとりの成長に合った声かけをし、必要に応じて援助していく。
- ・子どもたちの気持ちに寄り添った関りや声かけを引き続き努めながら、保育活動など工夫し充実した活動内容を考え、楽しめるようにしていきたい。
- ・毎日の活動の中で新しい発見やいろいろな体験ができるように、職員で話し合い工夫していきたい。